

西暦 2025 年 11 月 17 日 第 1 版

異所性妊娠で手術され、手術前に MRI 検査を受けられた患者さんの検体・情

報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の当院の問い合わせ窓口までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 異所性妊娠における超音波検査と MRI：画像スペクトラムと診断の相補性
[当院の研究責任者] 臨床検査科 産婦人科 元島 成信

[研究の背景]

異所性妊娠（子宮外妊娠）は、妊娠した受精卵が本来の子宮内膜以外の場所（主に卵管など）に着床する病気で、早期発見がとても重要です。一般的には超音波検査で診断しますが、症例によっては画像診断が難しい場合もあります。近年は MRI も診断補助として利用されていますが、画像の特徴や診断手順はまだ十分に整理されていません。そこで、より適切な診断法を目指して、超音波と MRI の両方について幅広い症例データをもとに、その特徴や有用性を調べる研究を行います。

[研究の目的]

本研究は、当院で過去に診断された異所性妊娠の画像データ（超音波検査・MRI）を匿名化して調査・解析し、それぞれの検査で現れる特徴の違いや補完可能性を明らかにすることを目的としています。これにより、将来の診断精度向上や患者さんへのより安全な医療提供につなげたいと考えています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2013 年 5 月から 2026 年 3 月の間に異所性妊娠で手術された患者さん

●研究期間：西暦 2025 年 11 月 17 日から西暦 2028 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

検体：MRI 画像、超音波画像

カルテ情報：最終診断名、検査時年齢、症状、手術様式

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学術集会や学術誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

臨床検査科 産婦人科 元島 成信

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881